



「ひまわりガーデン武蔵村山」では ボランティアの手によって約50万輪のひまわりが辺り一面に咲き誇っています。



No.33 (平成28年)

### 社会福祉法人 鶴風会

東京小児療育病院・みどり愛育園  
西多摩療育支援センター  
後援会

連絡先

〒208-0011  
東京都武蔵村山市学園4-10-1  
電話042-561-2521 (代表)  
東京小児療育病院  
Eメール torh@kakufuh.com

## 永年勤続者へ感謝

社会福祉法人鶴風会理事長

中里 厚

皆様方にはいつも鶴風会の事業に御協力を  
頂きまして誠に有難うございます。

当施設では昨年度から今年度にかけて一階  
病棟の大改修工事が行われており、東一病棟  
はすでに明るくきれいなフロアとなり、利  
用者さんや職員に大変よろこばれておりま  
す。今年十二月までには西一病棟の改修工事  
が完了します。

今年七月、障害者の医療や介護にたずさわ  
り支援している私たちにとって、衝撃的な事  
件が起きました。相模原市の障害者施設で元  
職員の男性が入所者十九名を殺害し、二十六  
名に重軽症を負わせました。この事件は海外  
でも報道されアメリカではケリー国務長官も  
哀悼の意を表しています。  
事件そのものの残酷さや恐ろしさよりも、  
私達はその根底にある障害者の存在を否定す  
る発言に心が凍りました。

## 理念

私達は  
障害児者の生命機能の維持  
向上と生活援助のための誠実な  
積極的取り組み障害児者と  
その家族を支援します

- 1頁 理事長のご挨拶
- 2頁 障害児者が自然に愛される社会の実現に力を注ぐ!!  
平成二十七年決算報告
- 3頁 東京小児だより・西多摩だより
- 4頁 重症心身障害看護師に認定されました・車庫寄付
- 5頁 平成二十八年度鶴風会表彰式・新医師紹介
- 6頁 オルフェの会案内・バザー案内
- 7頁 後援会だより・ブログ開設のお知らせ
- 8頁 ご寄付者名簿

今から五十年前、当時障害児をかかえた親  
が子供の将来をはかんで絞殺する事件が起  
きました。当時国や自治体の障害児の施策は  
おかれており、この状態を乗り切るには自分  
たちが立ち上がるしかない、帝国女子医学  
専門学校(現東邦大学医学部)卒業の女性医  
師たちが私財を投げ打ち、武蔵村山市に鶴風  
会東京小児療育病院を設立しました。

最近超高齢化社会を迎えた日本では、毎月  
のように家庭介護に疲れた老人や子供達が介  
護に手のかかる老人や認知症の年寄りを殺傷  
するという事件が頻発しております。勿論こ  
うした問題と相模原の事件の根底は全く同じ  
ではありませんが、今年二月にも川崎の介護  
施設職員が寝たきりの入所中高齢者三人をベ  
ランダから投げ落とし殺害した事件がありま  
した。こうした事件は今回の相模原事件の伏  
線になっていると思います。こうした事件は  
現代社会に潜む障害者への偏見や、差別とい  
うものが極端な形で出てきたものと思われま  
す。被害者の家族が「障害がある子供だから  
こそ、二倍も三倍もかわいいんです」と涙な  
がらに訴えていました。

先日、東京小児療育病院では永年勤続者の  
表彰を行いました。勤続年数十年から三十五  
年までの五年毎の節目の職員が多数表彰され  
ました。受賞者に感想を求めたところ「夢中  
で働いていたらこの年数になりました」とい  
う答えが多くありました。こうした職員と利  
用者さんとの和やかな交流現場をみている  
と、どうしてあのような事件が起こってしま  
うのか、お互いを認め合う差別や偏見のない  
社会をどうやって作っていくべきなのか考え  
させられました。



障害児者が自然に受容される  
社会の実現に力を注ごう!!

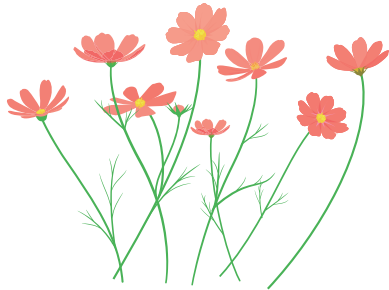
社会福祉法人鶴風会後援会長  
青木 継稔

今夏、七月下旬に神奈川県相模原市にある障害者入所施設を襲った障害者殺傷事件は、とてもつらく悲しい大きな出来事であり社会に多大な衝撃を与えました。このような人間としてあるまじき事件を引き起こした二十六歳の青年は、とても悪い思想に陥った結果の行動でした。犯人の青年は、麻薬常習者であったことが精神障害の発生と何らかの脅迫的な弱者抹殺思想と独自の社会的正当化がこのような障害者殺傷事件を起こしたものと思われまます。このような事件が起きてしまう我が国の社会的背景を考えてみましょう。社会保障や福祉の進んでいる北欧社会ではこの日本の事件を信じられない驚きのニュースとして報道されたようです。私は二十数年前に北欧の病院や障害児者施設、学校教育の現場、その他福祉施設を見学したことがあります。北欧社会では障害児者が地域社会にスムーズに溶け込み受け容れているのです。地域社会の住民と障害児者との壁が全くなく自然に交わっている姿に感動しました。ハンディキャップのある児者に対し、子どもから老人に至るまで敬意を持って交流があり暖かく手を自然に差し伸べているのが極く普通に行われているのです。駅やパト車の階段や段差のあるところに差しかかった車椅子の障害者を見かけるとすぐに、四、五人の若者が集まってきて、気軽に声をかけ車椅子ごと担ぎ上げて上に移動させ何事もなかったように去って行く

くのです。この光景を見た私は胸が強くキーンとなった感動を忘れることは出来ません。そんな光景を日本では今でも滅多に見ることはありません。

日本において障害児者がまだ社会の中に受容されていないし、また社会と交わる機会が非常に少ないと思います。幼稚園や学校における障害児との交流の場が少なく、小さい頃から社会の中に障害児がいることを知り、自然に交流させる必要があるのです。教育の現場での授業や学習内容は障害児者のレベルに応じた個別あるいは少人数教育は必要ですが、色々な場面での普通児と障害児の交流の場を積極的に設けることが必修と考えます。障害児者を特別視・差別することのない、自分達の仲間であり、社会の一員であることを体得することが「障害児者と社会と自然に交る」社会形成に繋がるのです。

「障害児者と仲良くなつてはいけない」思想の父母が多い日本人の心の狭さを解消する教育が必要であります。



平成27年度 社会福祉法人 鶴風会の決算報告

社会福祉法人 鶴風会  
【資金収支計算書】

(単位:千円)

区 分	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
事業活動収入計(1)	4,000,335	4,028,350	△ 28,015
事業活動支出計(2)	3,874,405	3,857,415	16,990
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	125,930	170,935	△ 45,005
施設整備等による収支			
施設整備等収入計(4)	175,272	180,044	△ 4,772
施設整備等支出計(5)	349,000	321,715	27,285
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 173,728	△ 141,671	△ 32,057
その他の活動による収支			
その他の活動収入計(7)	77,798	83,480	△ 5,682
その他の活動支出計(8)	500,000	511,502	△ 11,502
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 422,202	△ 428,022	5,820
予備費(10)	30,000	0	30,000
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 500,000	△ 398,758	△ 101,242
前期末支払資金残高(12)	1,579,175	1,579,175	0
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	1,079,175	1,180,417	△ 101,242

【事業活動収支計算書】

(単位:千円)

区 分	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
サービス活動収益計(1)	3,987,733	4,244,049	△ 256,316
サービス活動費用計(2)	4,018,991	4,242,826	△ 223,835
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 31,258	1,223	△ 32,481
サービス活動外増減の部			
サービス活動外収益計(4)	40,617	43,059	△ 2,442
サービス活動外費用計(5)	8,839	7,737	1,102
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	31,778	35,322	△ 3,544
経常増減差額(7)=(3)+(6)	519	36,544	△ 36,025
特別増減の部			
特別収益計(8)	180,044	27,787	152,257
特別費用計(9)	184,165	66,690	117,475
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 4,121	△ 38,903	34,782
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 3,601	△ 2,358	△ 1,243
前期繰越活動増減差額(12)	1,087,131	1,271,516	△ 184,385
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,083,530	1,269,158	△ 185,628
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	77,798	0	77,798
その他の積立金積立額(16)	200,000	182,027	17,973
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	961,328	1,087,131	△ 125,803

【貸借対照表】

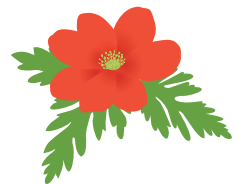
(単位:千円)

区 分	当年度末(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
資産の部			
流動資産(1)	1,610,011	1,827,264	△ 217,253
固定資産(2)=(3)+(4)	4,581,058	4,064,862	516,196
基本財産(3)	2,704,612	2,551,172	153,440
その他の固定資産(4)	1,876,446	1,513,690	362,756
資産の部合計(5)=(1)+(2)	6,191,069	5,892,126	298,943
負債の部			
流動負債(6)	619,911	431,160	188,751
固定負債(7)	1,319,543	1,319,543	0
負債の部合計(8)=(6)+(7)	1,939,454	1,750,703	188,751
純資産の部			
基本金(9)	1,705,794	1,705,794	0
国庫補助金等特別積立金(10)	938,485	808,700	129,785
その他の積立金(11)	646,008	523,806	122,202
次期繰越活動収支差額(12)	961,327	1,087,131	△ 125,804
(うち当期活動増減差額)	△ 3,601	△ 2,358	△ 1,243
純資産の部合計(13)=(9)+(10)+(11)+(12)	4,251,614	4,125,432	126,182
負債及び純資産の部合計(14)=(8)+(13)	6,191,068	5,892,127	298,941

(単位:千円)

脚注:減価償却累計額 3,919,380

※千円未満切捨てのため一致しない場合がある。





## 東京小児だより



東京小児療育病院院長

椎木 俊秀

今まで病棟で二つ、通所で一つ発行されていた施設だよりを統一し、施設の広報誌として定期的に発行することになりました。発行回数は施設行事関係を中心に年四回（五、八、十一、二月）の予定です。読者の方に施設のことや利用者の方々のことをよく知っていただくと同時に、楽しく、便利で元氣の出る施設だよりにしていけたらと思っています。

昨年度は非常に忙しい年でしたが、その一つだった東一病棟大規模改修工事も無事終わり新しい病棟へ移動になりました。利用者の方々も快適な日々を送られているようで何よりです。今年はまだ半年かけて西一病棟の工事が始まりますので、事故なくすべての改修工事が終了することを願っています。

- 今年度、院長としては以下の点を特に重視して取り組みたいと考えています。
- 一、財務の安定と強化
- 二、組織運営の強化
- 三、人材育成の強化
- 四、利用者サービスの向上
- 五、危機管理の強化

（医療安全、感染対策、防火・防災・防犯、個人情報管理）

### 六、その他

われわれが最優先することはもちろん利用者の方々の健康と安全、安心そして快適で充実した生活の保障です。しかし、そのためには施設の経営基盤が確固としたものでなければなりません。

はなりません。この間の厳しい社会福祉情勢の影響もあり、当法人の経営環境が厳しくなっておりますので、安定経営に向けて一層努力を強めたいと思います。

健全経営やサービスの質の向上のためにも機能的、効率的な組織運営が必要になります。この間、理念、基本指針、運営方針、人権の尊重、中長期計画、事業計画、バランスコアカードなどいろいろな方針を策定してきました。さらに方針を体系化するなど分かりやすく機動的な組織づくりを進めたいと思います。

「人は城、人は石垣、人は堀」というようにいろいろな人が力を合わせて初めて円滑な施設の運営が可能になります。そのためには人材育成が重要になります。マネジメント力のある指導層の育成と専門職の専門性の向上を車の両輪として人材育成を進めていきたいと考えています。

利用者サービスの向上は理念実現のための最大の要です。医療度が高い方が多いため医療的な対応に追われがちですが、そのような中でも利用者本位の個別支援計画やわずかな時間を使っての楽しい個別活動など様々な創意工夫が行われています。楽しく充実した豊かな生活を保障できるように支援を継続していきたいと思っています。

危機管理強化として引き続き医療安全、感染対策、防火・防災・防犯、個人情報保護を重視します。医療安全、感染対策はかなりしっかりとできるようになってきています。防火・防災・防犯、個人情報保護はまだ本格的に動き出した段階ですので、今年度は大幅なレベルアップを図りたいと思います。

## 西多摩だより



西多摩療育支援センター長

鶴岡 広

梅雨近頃の六月五日、西多摩療育支援センターで第十二回センター祭が行われた。前日までの雨は上がり十時半開催の挨拶後、障がい児者も参加する和太鼓グループの体に響く演奏が始まった。今回祭りの目玉は、東京の東縁にある葛西臨海水族園の出張水族館だ。サメやヒラメなど海の生き物をたくさん見た大きな水槽の移動水族館車、数個のプールに放されたカニや小魚など磯辺の生き物とのふれあい。

新しい体験をすることは楽しいことです。交通・医療・福祉が発達した現在でも、心身に障害がある人たちにとって長距離移動はちょっと不安がある。同じ東京であっても西多摩は高尾山に近く、山や川・森は身近だが、海が近いわけではない。海の生き物は遠い存在なのだ。

障がい児者は体験や感覚刺激の受容が困難なため、過敏な反応を示すことが多く、時にはパニック、場合によってはトラウマになることもある。障がい児者の感覚反応として、例えば聴覚・雷など突然の大きな音で体緊張を強める、触覚・足底の荷重感覚で踵・足底がつけず爪先立ちになる、味覚・特定の食べ物しか食べない、などがある。言葉の理解が苦手なことが多いので、身振りを交えてやさしく話しかける必要がある。また、不安感情をため込みやすいので、「緊張なんてしてないでしっかりしなさい」と否定するのではなく、「緊張しちゃおうと思うけどがんばってね」と共感することで、不安や緊張を和らげる。

ママと一緒にセンター通所支援に車椅子で通う、染色体異常がある幼少のAさん、プー

ルの海水でチョロチョロ動くカニに目を向けた。水族館スタッフの方が、素早く確実にカニ甲羅を手で捕らえた。何度も声をかけながらAさんの顔の前にゆっくりカニを持ち上げた。Aさんの視線の中でハサミやモソモソ動く足を見せた。Aさんの腕の上に軽く触れ数回カニを動かした。そして、Aさんの手のひらにカニを置いた。Aさんの動きが少し止まったが、手の上で動くカニに自ら指を伸ばして触れていた。水族館スタッフがカニをつかみプールの海水にゆっくり戻した。Aさんはパニックにならずママに押された車椅子に乗って水槽に移動した。

移動水族館のほかにも、近隣福祉施設の入所者が作成した作品の売店、東海大菅生高校ヒップホップダンス部の元氣な踊り、などがあった。当初から協力していただいているセンター向かいのあきる野市立西中学校の生徒さんをはじめ、百人以上のボランティア皆さんの協力をいただいた。東京小児職員ホラの焼き鳥・焼きそばも売り切れた。恒例の秋川プラスチックオーケストラをトリに祭は午後三時半に終了した。七百人に及ぶたくさんの方々の参加のおかげがとっさいでした。

障がい児者が地元で生まれ地元で育ち、健やかな日常を過ごし、社会への参加を通じて世にあることの意義を見出す一助となれば幸いです。今後も、ご指導ご鞭撻をいただきますとともに、変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。



重症心身障害看護師に

認定されました

東京小児療育病院看護科長

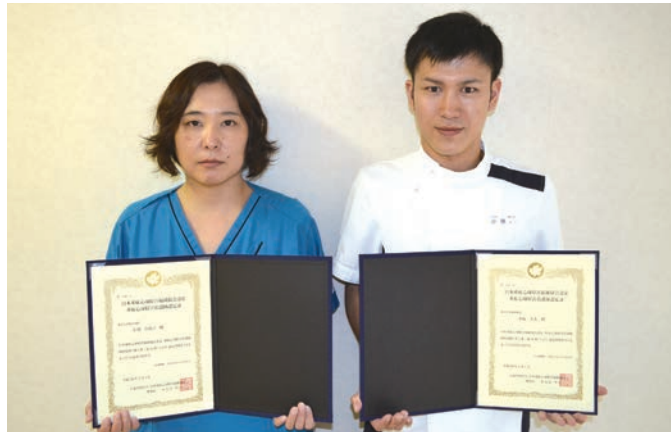
八代 博子

平成二十八年五月十九日(木)大阪府大阪市にて「日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師」の認定証授与式が日本重症心身障害福祉協会定時総会時に行われました。今年度は五回目の認定審査で全国から九十八名の申請があり、その中から八十四名が認定されました。表彰式には三十名の認定合格者が出席し、当院からも東京都代表で東一病棟看護主任有我真由子が出席し認定証を受領しました。

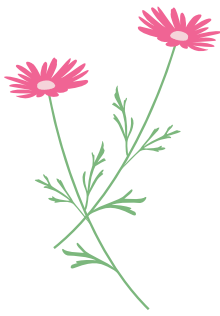
この認定制度は、重症児看護を深め、療育の質を高めたいと願う看護師に、学びの機会を提供し、専門性を育むことを目的に平成二十四年度に作られた制度です。認定取得後は、重症児看護のエキスパートナースとして、施設内外での後輩の指導育成の役割を持ち、重い障害を持った方々やそのご家族の幸せのために、また、重症児看護の魅力を広げていく等の貢献を期待されています。平成二十八年四月には北海道から九州まで全国七か所に教育機関が開設されています。認定者も全国に三百三十七名となりました。

当院でも、東京都の教育機関で九名の看護師が研修を修了し、二名の看護師が現在受講しています。当院の重症心身障害看護師は今年度一名が新たに認定されたので合計七名になりました。認定された七名の看護師は院内研修等を中心として後輩を育成しています。特別支援学校の教員に対しても医療的ケア研

修等を行い、重症心身障害児が通学できるように支援もしています。今後は、重症心身障害看護の発展のために研究等にも今以上に取組むことを期待しています。最後に、当院の重症心身障害看護師が、利用者とその家族のより良い生活を目指して活躍し続けることができるよう、精一杯応援したいと思います。



左：有我主任看護師 右：小椋看護師



日本財団より

福祉車両の寄贈

総務部庶務課

岩井 秀彦

公益財団法人日本財団(東京都港区、会長笹川陽平氏)より、平成二十八年二月二日(火)東京小児療育病院地域支援センター(訪問看護ステーション在宅支援たんぼぼ)へ福祉車両一台が寄贈されました。車両は軽ワゴンタイプで、車内空間が広く快適な運転が出来るようになっています。日本財団は熊本地震復興支援等の被災地サポートやパラインピック支援をはじめとするスポーツの普及活動など多岐にわたり活躍されています。日本財団へ感謝申し上げます。



(一社) 生命保険協会

東京都協会より

総務部庶務課

岩井 秀彦

一般社団法人生命保険協会東京都協会(東京都千代田区、事務局長吉澤良雄氏)より、東京都社会福祉協議会東京善意銀行を通じて、平成二十八年四月六日(水)東京小児療育病院・みどりの愛育園へ福祉車両一台が寄贈されました。車両は軽ワゴンボックスタイプで、総務・リハビリ・病棟・地域支援室等多部署で使用しております。一般社団法人生命保険協会東京都協会は毎年愛の募金運動を実施しており、寄せられた浄財を福祉分野の様々な団体へ寄贈されています。一般社団法人生命保険協会東京都協会へ感謝申し上げます。





平成二十八年年度  
鶴風会表彰式

総務部庶務課

佐藤 俊一

平成二十八年六月二十三日（木）に、本年度の法人表彰式を執り行いました。本年度も昨年度に引き続き、永年勤続表彰に加え、施設貢献として、長年に亘ってご協力いただいているボランティアの方四名と、ホームペーシプロジェクトチームの表彰がございました。受賞者の方々には、日頃のご尽力に感謝いたしますとともに、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

施設貢献表彰

ボランティア（行事参加・学習指導）四名  
ホームペーシプロジェクトチーム

永年勤続表彰

勤続三十五年  
加藤 早苗 作業療法士

勤続三十年

伊藤 泰広 理学療法士  
柳瀬 達夫 生活支援員  
田中 留美子 生活支援員

勤続二十五年

佐藤 朋己 事務  
乙幡 和明 事務  
長田 幸枝 看護師  
野澤 ひろみ 看護師  
北村 紀子 生活支援員

矢花 悟 生活支援員

勤続二十年

高橋 和美 看護師  
北川 めぐみ 生活支援員

岩崎 佳代子 生活支援員  
宮鍋 知子 生活支援員

岩永 喜代美 生活支援員  
北原 幸子 看護師

増山 文一 生活支援員  
三上 敬央 生活支援員

勤続十五年

萩原 麻美 歯科医師  
福丸 健治 調理師

田口 崇史 理学療法士  
鈴木 みほ 理学療法士

有我 真由子 看護師  
伊賀 伸子 看護師

西村 昭子 看護師  
田中 淑子 看護師

飯沼 りえ 生活支援員  
伊藤 順 看護師

勤続十年

古侯 知裕 作業療法士  
荒山 直子 作業療法士

岸本 直子 言語聴覚士  
青木 靖子 看護師

室井 梨沙 看護師  
野村 央子 管理栄養士

小林 泰子 生活支援員  
岩井 紀子 生活支援員



受賞者を代表し、思いを新たに決意表明



受賞の記念として、中里理事長と共に

新医師紹介

東京小児療育病院医師

下山 仁

平成二十八年七月より常勤小児科医師として入職致しました。

大学を卒業後に研修医として二年間、大学院生として四年間を過ごし、その後大学の医局員として大凡十年強、一般病院での診療や療育施設などの臨床に関わっております。ここ数年は療育施設に籍を置きながら、リハビリテーションの診療所と発達障害児者の支援施設などの関連機関をローテーションしている状態でしたが、今後もこの分野で困っている人たちの力になればと思うようになります。今回東京小児療育病院のドアを叩いた次第です。

私自身は療育の世界で揉まれていた間にこの分野に何となく適応してきたという状況で、療育に関する専門的教育を受けてきた訳では御座りません。小児神経の世界と発達精神の世界の狭間を行ったり来たりしてどちらも中途半端なので、ここに来て先生方はじめスタッフの皆様の専門性やモチベーションの高さに圧倒される毎日です。戦力としては心許ないとは思いますが、利用者の方々やそのご家族の皆様が高いレベルの医療や療育が提供できるように今後も努力して行こうと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。



## 社会福祉法人 鶴風会 チャリティコンサート ～オルフェの会～

当法人後援会主催の歳末チャリティコンサート「オルフェの会」を今年も開催することとなりました。

多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

会費の一部は社会福祉法人鶴風会の発展に寄与させていただきます。

ご協力・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

日 時 平成28年12月4日(日)

12時開演

場 所 新高輪プリンスホテル

国際館パミール

会 費 2万円(予定)

内 容 オペラミュージカルコンサート

出演者は「センスオブエッセンス」や「THE CLAPPS」のメンバーである、

テノール高野二郎、ソプラノ清水菜穂子、テノール猪村浩之、ソプラノみゆき、

バリトン押川浩士。いずれも二期会会員や藤原歌劇団のメンバー。

申込み 武蔵村山市学園4-10-1

社会福祉法人鶴風会

庶務課 石井昌之 宛

電 話 : 042-561-2521 FAX : 042-566-3753

## 社会福祉法人 鶴風会 チャリティバザーのお知らせ

開催日 平成28年10月23日(日)

10:00 ~ 14:00

会 場 東京小児療育病院院庭

- みどり祭りを同時開催 -

チャリティバザーでは、10月中旬までご寄贈品を受け付けております。

ご協力お願いいたします。

イベント・作品展・模擬店など企画しております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

### お問い合わせ

武蔵村山市学園4-10-1  
社会福祉法人 鶴風会  
東京小児療育病院バザー係

TEL 042-561-2521



## 後援会と後援会に感謝

アオキクリニック院長

二宮 文乃

鶴風会後援会は、社会福祉法人が発足し、少したって法人と入所者の支援をしたいとの志から、発したもので、同窓生一同も協力して後援会長（桑原→本明→五島）と代々実力がある先生方が就任され、多くの実績をあげられました。昨年、五島会長の死去に伴い、青木継穂前会長が後を引き継いで下さることになり、後援会役員一同、心からありがたく、感謝しています。私も五十年近く、法人の役員や、後援会の役員の末席を汚して微力ながら五島先生の手助けができたかなと思っております。この度は高齢に伴う体力の限界を感じ、役員を辞退させて頂きました。多くの素晴らしい若い先生方が続けてくださるので安心しております。法人施設に入所、或いは通所している多くの障害児者を含め、他の地域にも同様の障害児者が多数生活しており、私の住む地区でも障害児者の支援を約五十年前から行っておりますが、障害児者は徐々に増加して、夫々に支援活動が行なわれています。どちらの保護者も自分の所に障害者が生まれることは、夢にも思わなかったでしょうが、この世に生まれた以上、これからはその障害児児童が同じ一般の社会での生活を可能にするに、どのように育てていくべきかを考慮し

なくてはならない時代だと思えます。又、以前に比べて妊婦は生活の仕方に、もう少し注意を払う必要があると思えます。私の所では、女性が妊娠した場合は産婦人科受診後その先生とは別に、東洋医学的に個々の指導をしています。というのは若い女性が無頓着に、服装、ダイエットの食事など、下半身の冷えがひどい例を多く経験し、この事を強く戒めて指導しています。最近の高齢結婚、不妊そして流産、早めの出産から、帝王切開をするようになり、胎児は産道を通っていないため、誕生時に呼吸困難や、そのために僅かな異常、低体温、未熟児他が多くなり、その後の生育に関わっているような気がします。勿論正常に育つ児が多いのですが、昔に比べて異常者が多いように感じます。私は長年、漢方診療を行っているのですが、現在の病気の治療をする時、この若い人たちが将来患うであろう未病を防ぐ事を最大の使命であると深く関心をもって日頃の努力をしています。いまや未熟児出産の数は全出産の一割に近くその二割が発達障害児であるとのデータがあります。かつて小児だった障害児が、成長され、やがて結婚、女性は妊娠されると思いますが、健常者より一層の注意が必要です。一般的には不妊治療で妊娠された当院の患者さんの場合は、本人とこれから生まれてくる児の大切さを考え、出産日まであれこれ指導します。無事生まれた乳児を抱えて、来院し、嬉しそうに見つめる若い人たちを見ると、この仕事をしています。その写真も百枚以上になり、私の仕事も一段落かな、と思っております。顧みると同じく五十年近く、鶴風会と共に育つて

きたわけです。今の日本人は弱者に対する思いやりが少ないと考えられ、私達は五島先生という素晴らしいクラスメートがいて、先生にひっぱられながら支援の仕事が続けられたことを心から感謝しております。この世に生を受けたのは、社会のため、何をなすべきかを勉強して納得し、その知識を皆のために尽くすこと、これこそ人間である証しだと考えています。鶴風会に長年携わってこられたことを、心からありがたいと御礼申し上げ、私の約五十年に亘るご縁を、これで終わらせて頂きます。

きたわけです。今の日本人は弱者に対する思いやりが少ないと考えられ、私達は五島先生という素晴らしいクラスメートがいて、先生にひっぱられながら支援の仕事が続けられたことを心から感謝しております。この世に生を受けたのは、社会のため、何をなすべきかを勉強して納得し、その知識を皆のために尽くすこと、これこそ人間である証しだと考えています。鶴風会に長年携わってこられたことを、心からありがたいと御礼申し上げ、私の約五十年に亘るご縁を、これで終わらせて頂きます。



私たちの活動をお伝えます

東京小児療育病院 看護師ブログ  
にじいろ日記

看護師ブログ『にじいろ日記』開設のお知らせ

法人ホームページのリニューアルに伴い、看護師ブログ『にじいろ日記』を開設しました。病院内での日常や当院の看護師育成の様子などを随時掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.kakufuh.com>



鶴風会後援会へご寄付者ご芳名

平成28年1月～平成28年6月

222名(五十音順・敬称略)

- 相川 嘉正・青木 継稔・青木 裕  
 青木 美澄・青木りう子・青野 忠道  
 赤堀 恒夫・明間 邦子・浅見 薫子  
 足高 毅・東 恵子・足立 嘉子  
 阿部 正和・安部 良治・新井 恒子  
 荒木真佐子・有村 章・有村 健  
 飯国 弥生・井澤 節郎・石塚 敏美  
 石見 亜矢・石見 徹夫・五田市緒里枝  
 五田市 敬・逸見 仁道・伊藤 圭子  
 稲松 信雄・井上美知子・猪俣賢一郎  
 岩瀬 七重・飯国紀一郎・飯国洋一郎  
 稲垣 登稔・宇野久仁子・宇野 拓  
 海野 俊雄・梅田みほ子・内 孝文  
 内野 啓子・江川 惠基・及川千代子  
 青梅 順子・大木 晋輔・大久保陽一郎  
 大高 敏子・大塚 慶子・大野 浩  
 岡田 研吉・荻原 泰・小原 明  
 小原 圭子・小原 該一・柁原 宏久  
 春日井正典・加藤 葉子・金森 勝士  
 金子 晴生・釜范 登志・金子稜威雄  
 鹿嶋田忠史・木内 徹子・岸田 輝夫  
 鬼頭 秀明・木村 裕・木村 文祥  
 久保 初美・倉根 理一・黒木 貴夫  
 黒瀬 嘉幸・桑原 利章・月花 亮  
 小蒔 達郎・小竹原安見・小竹原良雄  
 後藤加寿美・小林 寅詔・小林 一雄  
 小林純二郎・小林登喜子・小林 令明  
 駒松 仁子・後藤佐多良・西條 公勝  
 齋藤 眞一・齋藤 登・齋藤 洋子

- 坂本 勉・佐々木康人・佐多 由紀  
 佐渡 昌子・佐藤 重雄・佐藤 信一  
 澤井 寛人・佐々木裕美・塩野 則次  
 志鳥眞理子・四宮 雅子・柴 孝也  
 嶋田 寛子・島津和貴雄・清水 一輝  
 清水 友里・下川 正孝・莊子 英彦  
 白井 厚司・志村 博基・新谷 義克  
 島野 光・洲鎌久美子・杉 薫  
 杉本 寛子・杉本 光以・杉山 卓哉  
 杉山 尚子・鈴木力子・鈴木志賀子  
 鈴木 忠子・鈴木龍一郎・菅野 壽子  
 干 哲三・園 定子・田岡 博明  
 高木 利明・高地 良介・高槻 義夫  
 高橋比路美・武居 正郎・竹田 秀  
 武田 毅・館野 昭彦・館野かおり  
 田原 卓浩・田部 秀山・津賀 節子  
 栃久保哲男・長岡 貞雄・中里恵美子  
 中里 良・中園奈津子・中園 宏紀  
 中谷 尚登・中野 重徳・中村志津子  
 中村 豊・中山 孝一・中山 禎子  
 並木 温・新妻 正道・新妻眞文字  
 西井 華子・西出 幸子・西宮 常代  
 野上和加博・野口 隆敏・野田 文子  
 能谷 正雄・野村 直子・橋口 玲子  
 花岡嘉奈子・林 佳子・原田 孝  
 原田千鶴子・原田裕美子・萩原 マチ  
 樋口志津子・土方 淳・平田 徹  
 平野 陽子・蛭田 啓之・平野 徹  
 福田 健・福田 静子・星 恵子  
 星 北斗・星田 宏・前畑 安宏  
 牧 昭夫・牧 三樹子・増田登志子  
 松橋 京子・松原 龍弘・松本 英亜  
 丸山 和子・三木 一正・水落 笙子  
 三宅 三・宮地麻美子・向山 秀樹

- 向山 和代・武者 芳朗・村岡 宏子  
 村川 公一・村川世津子・村岡 均  
 望月 陽子・百瀬せつ子・森 克彦  
 森 紘子・矢野 春雄・山崎 公子  
 山崎 純一・山下 香澄・山下 美玉  
 山田 輝代・山村 憲・山本 温子  
 山口 美穂・油原 鈴音・湯澤 俊  
 横江 一朗・横山 利明・吉田 友英  
 吉田 宏重・吉澤 照・宮崎 元伸  
 鷺澤 尚宏・鷺澤 祐子・渡邊 弘恵  
 医療法人 秀峰会  
 桜蔭学園同窓会 晁桜会  
 立川酸素株斉藤 八重子

社会福祉法 鶴風会ご寄付者ご芳名法人団体個人

平成28年1月～平成28年6月

31名(五十音順・敬称略)

- 阿部美代子・石田 勇・伊藤 治男  
 海老原明次・上岡 謙夫・菊地 由美  
 斉藤 雅彦・佐藤 明子・佐藤 宣  
 澤村 愛・清水美津子・杉並区医師会  
 高橋 孝彦・田中 康慶・長 博雪  
 苗村 みえ・中村 道子・二宮 文乃  
 濱中知恵子・細澤 幸代・眞瀬きよみ  
 南観光交通(株)・守田 洋・山田耕一郎  
 吉永 克己・吉永 久子  
 あゆみ保険事務所  
 (株)ワークセル・サービス  
 東京小児療育病院 みどりの愛育園 父母の会  
 特定非営利活動法人 わらへ  
 都立あさる野学園 山本ひろみ

編集後記

過去最高数のメダルを獲得したりオ  
 リンピックも終わり、四年後には東  
 京オリンピックが開催されます。  
 この四年間で社会の流れも大きく変  
 わっていくことが推測されます。

当法人でも、東一病棟に続き、お盆  
 明けより西一病棟の改修工事が本格的  
 に始まりました。完成は十二月上旬の  
 予定です。

今後安定した運営が行えるよう、  
 より一層の努力をするとともに、皆様  
 からのご支援・ご協力を賜れば幸い  
 です。

どうぞよろしくお願ひいたします。

編集委員会

